

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

単位：%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100	0	0	プレイルーム、訓練室、更衣室等適切である。
	②	職員の配置数は適切であるか	100	0	0	人員配置基準を十分に満たしている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100	0	0	風除室・トイレ・事務所・訓練室等全てバリアフリーとなっている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100	0	0	提供終了後に、ミーティングにて業務の振り返りをし、課題について話し合う機会を設けている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100	0	0	保護者向け評価表の結果をもとに職員間で話し合い改善・検討を行なっている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100	0	0	HPにて公開予定である。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	0	100	現在は行っていないが、検討していく必要がある。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100	0	0	定期的にTEACCH勉強会、ケースカンファレンスを実施している。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100	0	0	支援計画を作成するにあたって、年度末に保護者へのアンケート調査を行なっている。
適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	75	25	0	アセスメントツールを使用しているが、個々の発達の特長や生活能力等を包括的に評価できる新たなアセスメントツールの使用を検討している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100	0	0	次年度事業計画策定会議を行なっている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100	0	0	各種療法、行事等を取り入れ工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100	0	0	月間予定を作成。長期休暇中は、朝からの提供のため外出先等工夫している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100	0	0	視覚支援（TEACCH）や課題等、利用者個々に応じた計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100	0	0	日程表にて周知・確認を行なっている。営業終了後、引き継ぎ事項等話し合う機会を設けている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100	0	0	行っている。週休だった職員は、翌日に引き継ぎノートを確認することになっている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100	0	0	行動記録のみではなく職員が対応した結果についても記録をし支援に繋げている。

	⑮	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100	0	0	半年に一回のモニタリングを行なっている。月一回の目標設定・評価も行なっている。
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	100	0	0	ガイドラインに沿った支援を行っている。
関係機関や保護者との連携関係	⑰	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100	0	0	基本的に、児童発達支援管理責任者が出席しているが、担当職員にも事前に聞き取りを行なっている。
	⑱	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100	0	0	保護者を通して行うことが主だったが、送迎時に学校側とも連絡調整を行なっている。
	㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	50	50	現在、医療的ケアが必要な児童は利用されていない。服薬については、お薬手帳を提示していただいている。
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	50	50	0	状況に応じて行なっている。
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	100	0	今年度は、該当者はいなかった。今後必要に応じて行なっていきたい。
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	50	50	0	年間研修計画を作成し、計画に沿って研修に参加しスキルアップに繋げている。
	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	50	50	近隣の公園や公共の施設にて交流の機会を設けているが、具体的なものを今後、検討していく。
	㉖	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	100	0	0	児童・療育部会に参加した。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	50	50	0	年度末にアンケートを実施している。連絡帳や口頭にて行なっている。
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	50	50	現在、ペアレント・トレーニングは行っていない。家族で参加できる行事を実施しているが、交流できる機会等企画していく。
保護者への説明責任等	㉙	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100	0	0	変更があった場合は、重要事項変更届にて保護者へ説明同意をいただいている。
	㉚	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	50	50	0	保護者から相談があった場合は随時、応じているが、事業所側から保護者の悩みを引き出せるように工夫していきたい。
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	50	50	0	年1回芋煮会を開催。来年度は、親子遠足を予定しているが、その他親子で参加できる行事を検討していきたい。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100	0	0	権利擁護委員会を設置し、苦情があった場合は迅速に対応できるよう心掛けている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100	0	0	法人として会報誌を年4回発行している。月間行事予定を事前に作成し配布している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	100	0	0	充分、注意している。個人情報同意書を記入していただいている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100	0	0	定期的なアンケート、日々の連絡帳にて行なっている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	50	50	0	高齢者施設への訪問を行っている。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	0	100	0	作成はしているが保護者に周知されていない。緊急時対応マニュアル、防犯マニュアルを保護者に配布する。また、感染症マニュアルについては閲覧できるようにする。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100	0	0	月1回の避難訓練を実施している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	0	100	0	月1回のアンケート実施。研修に参加した職員からの伝達研修を行っている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100	0	0	重要事項説明書に記載している。実際には、行なう場面はなかったため計画には記載していない。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100	0	0	契約時に、アレルギーの有無について確認をしている。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100	0	0	作成し共有している。ヒヤリハットがあった場合は随時、会議も実施し対応策等について周知している。